

(1) はじめに

私の行く前の目標は、「担当のクラスの生徒全員と仲良くなること」と担当の教科が世界史だったので、「時代や物事の流れを大切にし、生徒にわかりやすい授業をすること」でした。準備としては、どこをするのか、大まかにしかわからなかったので、高校時代のノートを見返すなどしていました。

(2) 学校、教員、生徒（地域）集団との人間関係

・学校：私が行った学校は私立の進学校だったので、学校全体的に荒れている様子はありませんでした。

・教員：私が高校生の頃からいる先生がほとんどだったので、先生方には温かく接していただきました。初対面の先生方からは、“実習生”という立場で見られていたため、積極的に雑務を手伝うなど実習生として振る舞うよう注意されることもありました。

・生徒：「担当のクラスの生徒全員と仲良くなる」ということを目標にしていたのですが、私の担当のクラスの生徒は大人しい子が多く、仲良くなるのは苦戦しました。担当の先生にアドバイスしていただき、一緒に掃除をし、身近な答えやすい話題を振るようにはしました。

また、クラスの座席表を作って、生徒の名前を覚えて、名前を呼ぶようにしました。すると、生徒たちが自ら話しかけてくれるようになり、とても嬉しかったです。生徒全員と仲良くなれたかはわかりませんが、全員と話すことはできたのでよかったです。

(3) 教科指導

私は、高校1年生の世界史Aと高校2年生の世界史Bを担当しました。範囲は古代インドと中国(高1)、秦～前漢(高2)まででした。指導案は3つ作成し、話す内容や、いつ生徒をあてるのかなど詳しく書くようにしていました。授業は自作のプリントを使って行い、そのプリントに話す内容の要点や話の流れを書き込み、授業ノートにしました。板書案も作成し、一度は実際に黒板に書いてみて、字の大きさなどを確認しました。担当の先生には、板書は1～2枚にし、何度も消すことのないように指導していただいていたいました。

授業そのものは、生徒のノートをとるスピードなど、生徒の様子を見ながら授業を進めていくことに、とても苦労しました。はじめは間が長くあくことが不安で、間をあけずに話していましたが、強弱をつけたり、何度も大切なところを繰り返すなど工夫をし、間があいても不安になることはなくなりました。事後指導の発表のときに、「テストのための勉強でなく、社会科の楽しさを伝えることが大切だと指導された」という話は、自分がなんのために授業をするのかと考えたときの一つのヒントになると思い、心に響

きました。

#### (4) 特別活動

・HR：連絡事項を伝えるときに、1つ1つの話の間のあけ方や、生徒の注意をひきつけるのが難しかったです。優先順位や重要度などを考えながら話す順番を決めたり、「ちょっと顔上げてね」などの言葉をかけて生徒の注意をひきつけるようにしました。

・LHR：LHRを2回担当しました。自分の高校時代のことや、大学受験の体験談やアドバイスなどの話をしました。生徒たちに、LHRで一番伝えなかったことは、高校の3年間はとても大事な時期なので無駄にしてほしくないということでした。「今、この瞬間。叶えたい未来にふさわしい今を」という大学の部活のスローガンの話をしました。

「私は部活で“全日本選手権出場”という目標を掲げていて、その目標を達成するために、日々練習に取り組んでいます。叶えたい未来があるのなら、その未来にふさわしい今を過ごさないと、結果はついてこないと思っています。みんなも叶えたい夢や、行きたい大学があるのなら、一生懸命勉強したり、夢を叶えるための努力をしないといけないよ。今、自分はなにをすべきなのかということ問いかけながら高校生活を送ってほしいです」というような話をしました。

・合唱コンクール：私のホームルームのクラスは1年生のクラスだったので、毎年合唱コンクールに参加することになっていました。私は、朝練と放課後の練習に参加していました。担当の先生から、歌のアドバイスやクラスの雰囲気が盛り上がるようにしてほしいと言われていました。私の担当していたクラスでは、女の子も非協力的な生徒がいて驚きました。リーダーの子たちに「どうしたらクラスみんなが練習に協力的になるのか」というような相談をされました。自分が高校生のおきも、みんなあんまり協力的じゃなかったよと安心させ、リーダーの子たちが大人しい子だったので、明るく「やろうよ！」などもっと言ってもいいんじゃない？とアドバイスしました。

また、練習で歌い終わったあとに、自分たちで「今のよかったね」など、褒め合う習慣がなかったので、私が褒め役になり、スゴイね、うまくなったねなど褒め言葉を積極的に言うようにし、拍手などもするようにしました。

そうすると、生徒たちも歌い終わりに拍手をするようになり、なごやかな雰囲気で練習をするようになりました。1年生の合唱コンクールは、一つのことを協力してすることで、クラスの団結力を高める目的があるのではないかと考えました。まだ入学して2ヵ月で、クラスのまとまりに欠けている頃に、生徒に自主的に練習をさせることで、学級委員長や、係の子を中心にまとまっていく、力を合せることを学んでいるのだと思いました。

#### (5) まとめ

教育実習に行かせていただき、とても貴重な体験をさせていただきました。生身の生

徒に授業を行うことで、大学の模擬授業ではわからない問題点や、きづきがたくさんあり、現役の先生方には、たくさんのテクニックを教えていただきました。

また、担当の先生に言われた「あなたは、どんな先生になりたいのか？」という問いかけや、生徒との距離感というのは、これから考えていかなければならないことだと思いました。教育実習に行って、貴重な体験ができ、自分も一回り成長できたのではないかと思います。

事後授業で、他の人が発表しているのを見て、事前授業のときとは違ってどうどうと話している姿をしているなど感じました。私も、他の人に少し変わったなと思ってもらえていたら嬉しいです。